

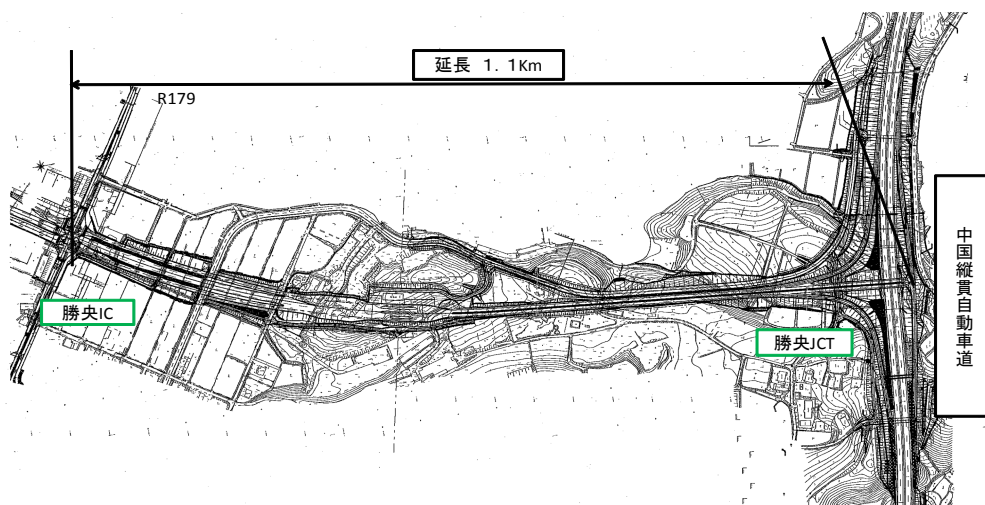
再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 <small>みまさかおかやま</small> 美作岡山道路 一般国道374号 <small>ゆのこうしゅうおう</small> 湯郷勝央道路（延伸）	事業区分 一般国道	事業主体 岡山県
起終点 自：岡山県勝田郡勝央町黒土 至：岡山県勝田郡勝央町黒土		延長 1.1 km
事業概要 一般国道374号は、岡山県備前市から同県津山市に至る延長約58kmの主要な幹線道路である。本事業は、岡山県岡山市東区瀬戸町から同県勝田郡勝央町に至る延長約36kmの地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成し、現道における朝夕の渋滞解消や交通安全確保を目的とする延長1.1kmのバイパス事業である。		
H19年度事業化	都市計画決定 無し	H20年度用地着手
H21年度工事着手		
全体事業費	約40億円	事業進捗率 74%
		供用済延長 0 km
計画交通量	3,500台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 5.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 11/43億円 (事業費：10/42億円) (維持管理費：1.0/1.0億円)
	総便益 (残事業)/ (事業全体) 58/58億円 (走行時間短縮便益：50/50億円) (走行経費減少便益：4.6/4.6億円) (交通事故減少便益：3.1/3.1億円)	基準年 平成26年
感度分析の結果 (全体事業) 交通量：B/C=1.2~1.5(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.8~5.8(交通量±10%) 事業費：B/C=1.3~1.4(事業費±10%) 事業費：B/C=4.8~5.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.4(事業期間±20%) 事業期間：B/C=5.1~60.6(事業期間±20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（美作地域から岡山地域への定時性の確保） ・安全で安心できるくらしの確保（美作市中心部から三次医療施設へのアクセス向上） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成） ・個性ある地域の形成（湯郷温泉、岡山ファーマーズマーケットなど主要観光地へのアクセス向上）		
関係する地方公共団体等の意見 沿線の首長及び議会議長で構成する「美作・岡山道路整備促進期成会」など複数の団体から早期整備要望を受けている。		
事業評価監視委員会の意見 現計画の継続は妥当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 地域高規格道路「美作岡山道路」の佐伯IC～熊山IC間（平成18年2月22日）及び勝央IC～湯郷温泉IC間（平成23年3月20日）が供用開始。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 中国縦貫自動車道への接続ランプ部の土工を完了させ、引き続き舗装工、安全施設工、照明・道路情報板設置工等を推進することにより、平成27年度完成を目指す。 事業進捗率約74% 用地進捗率100%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成27年度供用予定。		
施設の構造や工法の変更等 現場内外の建設発生土の有効利用等により、今後ともコスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。